
幸せを生む雇用システムとは？ （働くとは？）

ユナイテッドピープル 関根

●働くとは？

はたらく＝傍楽
周りも、自分も幸せにする行為

ラダック（小チベット）で出会った人々
歌いながら収穫。収穫祭。働く＝喜び

アフリカのブッシュマン（サン人）
食料を獲得してから消費するまで何度も何度も分配
所有に対する欲望がないから平等な分配

現在の社会システムは所有、独占が善とされるシステム
分配することが幸せになる設計はできないのか？

●人はなぜ働くのか？

幸せになりたいから
では幸せとは？
映画『happy』の紹介
happy インドのスラム街で暮らすリキシャ引きの幸せについて
<http://www.happyrevolution.net/video>

幸せとは「つながり」「家族」「安心」など
幸福感のうち40%は自分次第で高められる。
（ソニア・リュボミアスキー博士
／米国カリフォルニア大学リバーサイド校の心理学教授）

●幸せになるには？

- 1 感謝の気持ちを表わす／
- 2 楽観的になる／
- 3 考えすぎない、他人と比較しない／
- 4 親切にする／
- 5 人間関係を育てる／
- 6 ストレスや悩みへの対抗策を練る／
- 7 人を許す／
- 8 熱中できる活動を増やす／
- 9 人生の喜びを深く味わう ／
- 10 目標達成に全力を尽くす／
- 11 内面的なものを大切にする／
- 12 身体を大切にする——瞑想と運動
(ソニア・リュボミアスキー博士
／米国カリフォルニア大学リバーサイド校の心理学教授)

●提案

1) システム（マネー）から半歩でも抜け出し、クリエイティブな個を。

安心は自分で得る。食べるものは自分で作る、得る。

宮大工、西岡常一の話（畑をやっていた）

気軽に野菜作り、「半農半X」

「食いっぱくれない」安心を一生手に入れる。

食の確保ができれば、好きなことができる。

2) 食糧バウチャー制度&雇用創出

年金の崩壊の危険

国民は絶対に飢えさせない

食糧バウチャーを配布（ベーシックインカムのようなもの）

日本国として食糧100%自給体制を作る

農業ニューディールで地域ごとに独立した食糧生産体制を作る

廃校を農業生産訓練校に（有機、小規模、多品目）
国にとっての「食料安全保障」にも。

3) 個が輝く教育システム

大量生産大量消費型社会で役立つ教育ではなく
地域ごとに職を生み出せるクリエイティブな個を育成
「職人」を生み出す教育。ドイツの職業教育システム。
ドイツ、在学中に職業訓練する機会に恵まれる。
マイスター制度。国が輝く個を生み出す
仕事は生み出すもの、作るもの。